

平成23年度

# 入学者選抜要項



京都府公立大学法人

**京都府立医科大学**

Kyoto Prefectural University of Medicine

# 目 次

<b>I 本学の概要</b> .....	<b>1</b>
1 学部・学科 .....	1
2 歴史と特色 .....	1
3 教育方針 .....	1
4 望ましい資質 .....	2
<b>II 募集人員</b> .....	<b>3</b>
<b>III 入学者選抜方法等</b> .....	<b>3</b>
<b>IV 身体に障害を有する者との事前相談</b> .....	<b>3</b>
<b>V 医学科一般選抜（前期日程）</b> .....	<b>4</b>
1 募集人員 .....	4
2 出願資格 .....	4
3 入学者選抜方法 .....	4
4 その他 .....	5
<b>VI 医学科特別選抜（推薦入学）</b> .....	<b>6</b>
1 募集人員 .....	6
2 出願資格及び推薦条件 .....	6
3 入学者選抜方法 .....	7
<b>VII 看護学科一般選抜（前期・後期日程）</b> .....	<b>8</b>
1 募集人員 .....	8
2 出願資格 .....	8
3 入学者選抜方法 .....	8
4 その他 .....	9
<b>VIII 看護学科特別選抜（推薦入学）</b> .....	<b>10</b>
1 募集人員 .....	10
2 出願資格及び推薦条件 .....	10
3 入学者選抜方法 .....	10
<b>IX 募集要項等の交付</b> .....	<b>11</b>
平成23年度入学者選抜における実施方法の変更概要 .....	12
平成23年度京都府立医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について .....	13

# I 本学の概要

## 1 学部・学科

医学部 医学科  
看護学科

## 2 歴史と特色

本学は、明治5(1872)年に古都京都に開設されたわが国屈指の長い歴史と伝統を誇る医科大学であり、開設以来、公立の医科大学として京都府民に親しまれ、その医療は大きな信頼を得ている。

また、平成20(2008)年4月には京都府公立大学法人・京都府立医科大学として、新しいスタートを切り、京都府民の健康と生命を守る中核として、さらなる飛躍を目指しているところである。

医学科は、その出身者が10,000人を超え、京都府を中心として全国において医学の第一線で活躍している。また、大学スタッフによる優れた研究成果は、わが国のみならず全世界からも高く評価されている。さらに、多くの本学出身者が欧米をはじめとする諸外国において、活発な活動を行っている。

昭和54(1979)年2月に策定された「京都府立医科大学整備構想」に基づき、昭和57(1982)年3月には中央診療棟、同年11月には附属小児疾患研究施設(京都府こども病院)、昭和60(1985)年9月には病棟(第1期)、平成元(1989)年8月には病棟(第2期)、臨床講義棟が完成した。平成2(1990)年11月には附属脳・血管系老化研究センターが開設された。平成4(1992)年2月には附属図書館・合同講義棟、平成8(1996)年6月には基礎医学学舎(第1期)、平成13(2001)年3月には基礎医学学舎(第2期)が完成した。

看護学科は、明治22(1889)年の産婆教習所の開設に始まり、附属看護専門学校、医療技術短期大学部などの変遷を経て、平成14(2002)年4月、医学部に設置された。出身者は9,000人を超え京都府内の病院を中心に全国で看護の発展・充実に寄与している。本学科は、医療の高度化・専門化をはじめ、少子高齢社会に対応できる看護職者として、人々の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材を育成することを目的としている。

本学は、公立の医科大学としての地域医療への貢献とともに、豊かな教養と深い知識、確かな技術と最先端の研究成果を身につけた一流の医療人として、世界に通用する人材を育成している。

## 3 教育方針

### (1) 医学科

医学科では、6年一貫教育によるカリキュラムが実施されている。その中では、1・2学年で教養教育が、2・3・4学年で基礎・社会医学教育が、3・4・5・6学年で臨床医学教育が行われ、さらに、1学年から6学年までの全期間を通して総合講義の時間が設けられ、学際的内容の講義が実施される。これらを通して、自ら考え学び探求する姿勢を身につけるとともに、調和のとれた医師及び医学研究者となるにふさわしい人格を形成し、未来を担う者にとってふさわしい水準の医学を積極的に習得することが求められる。教育方針は厳格を旨とするが、講義・実習のみならず、課外の活動を通じて有意義な学生生活が送れるよう常に配慮している。

## (2) 看護学科

看護学科では、心と技術と知識のバランスのとれた看護職者を育成するための教育を行う。教育にあたっては、1学年から教養教育・専門基礎科目に加えて看護の基本となる専門教育を行い、看護学の理論と実践が学年進行に応じて系統的に修得できるよう講義、演習、実習を展開している。4学年後期には「看護学の統合と発展」の科目を開講し、より専門的で社会のニーズに対応した最新の看護学教育を目指している。

## 4 望ましい資質

### (1) 医学科

医学は、疾病の原因究明とその予防及び治療を目指す自然科学である。しかし、その対象が人間である以上、人文科学、社会科学とも密接な関連を有する。したがって、幅広い視野と基礎力を養っておくことが望まれる。それと同時に、長く厳しい医学の道を進むに適した強健な心身、医学及び医療に対する深い関心と人間愛、社会に対する責任感と奉仕的精神、チーム医療を可能にする安定した情緒と協調性が必要である。また、旺盛な知的探求心をもって生涯学習を続ける決意をも必要とする。

### (2) 看護学科

看護学は、健康のあらゆるレベルにある個人及び家族への看護を追求する学問であり、実践科学である。そのため、専門職者として、倫理観や感性に富んだ人間性が望まれる。また、専門的知識・技術に基づいた判断力や実践力を有し、医療チームの中で看護を実践できる協調性、責任感、そして健康な心身が必要である。さらに、卒業後も、自ら課題探求、研究していくために学習を続ける意志を必要とする。

## Ⅱ 募集人員

学 科	入 学 定 員	募 集 人 員		
		一 般 選 抜		特 別 選 抜
		前 期 日 程	後 期 日 程	推 薦 入 学
医 学 科	1 0 7	1 0 0	— (注)	7
看 護 学 科	8 5	4 0	1 0	3 5

(注) 医学科は、後期日程の募集を行わない。

## Ⅲ 入学者選抜方法等

- 本学の入学者選抜は、一般選抜と特別選抜（推薦入学）により実施する。
- 一般選抜の個別学力検査等は、分離分割方式（前期日程及び後期日程）により実施する。
- 本学の推薦入学、前期日程及び後期日程の併願は可能である。

### 【出願・受験上の注意】

- 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う大学を除く。以下同じ。）志願者は、前期日程、後期日程及び公立大学中期日程からそれぞれ1つ、合計3つまでの大学に出願し、受験することができる。
- 1つの国公立大学に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学へ入学手続をとることは認められない。
- 推薦入学の合格者については、特別な事情により推薦入学の辞退を許可された者を除き、他に出願済の国公立大学を受験しても、その大学の合格者とはならない。

## Ⅳ 身体に障害を有する者との事前相談

本学に入学を志願する者のうち、身体に障害を有する者で受験上又は修学上特別の配慮を必要とする者は、平成22年12月15日（水）【看護学科特別選抜（推薦入学）については平成22年10月1日（金）】までに本学学生部学生課入試担当まで問い合わせの上、文書で照会すること。

## V 医学科一般選抜（前期日程）

### 1 募集人員 100名

### 2 出願資格

入学を志願できる者は、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下、「大学入試センター試験」という。）で本学の指定する全ての教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成23年3月31日までに合格見込みの者で平成23年3月31日までに18歳に達するもの
- (7) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者
- (8) その他、本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（注）

（注）出願資格（8）による入学資格の認定を申請する者は、平成22年8月23日（月）までに本学学生部学生課入試担当まで問い合わせの上、文書で照会すること。

### 3 入学者選抜方法

#### (1) 第1段階選抜

入学志願者数が募集人員の4倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、募集人員の約4倍の合格者を決定する。

(2) 第1段階選抜に用いる大学入試センター試験の配点は、次のとおりである。

国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	計
200	100	200	200	200	900

- (注) 1 地理歴史及び公民の2教科を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。  
2 理科については、物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰから2科目の受験が必要である。3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用する。  
3 外国語において英語を受験した場合（リスニングテストを免除された場合を除く。）は、筆記試験及びリスニングテストの合計得点を5分の4に圧縮する。

(3) 第2段階選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入試センター試験、本学が実施する第2次学力試験及び面接の成績並びに出身学校長から提出された調査書を基にして第2段階選抜を行う。

(4) 第2次学力試験及び面接

ア 試験日 第2次学力試験 平成23年2月25日(金)

面接 平成23年2月26日(土)

イ 第2次学力試験の実施教科・科目及び試験時間

教科名	科目等	試験時間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C	120分
理 科	(「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」、「生物Ⅰ・生物Ⅱ」) から2科目選択	150分
英 語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	120分

(注) 1 数学Bは「数列、ベクトル」、数学Cは「行列とその応用、式と曲線」の内容を出題範囲とする。

2 物理Ⅱは、「力と運動」「電気と磁気」「物質と原子」の内容を出題範囲とする。また、「原子と原子核」において扱われている諸項目についても、出題の素材とすることはあり得る。

3 化学Ⅱは、「物質の構造と化学平衡」「生命と物質」の内容を出題範囲とする。

4 生物Ⅱは、「生物現象と物質」の内容を出題範囲とする。また、「生物の分類と進化」「生物の集団」において扱われている諸項目についても、基本的な内容を出題の素材とすることはあり得る。

ウ 面接

第2次学力試験の受験者全員に対し行い、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価する。

なお、面接試験の結果によって、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を欠くと判断されれば、大学入試センター試験及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とする。

(5) 第2段階選抜に用いる大学入試センター試験及び第2次学力試験の配点

大学入試センター試験					第2次学力試験			面接	総計
国語	地理・公民	数学	理科	外国語	数学	理科	英語		
100	50	100	100	100	200	200	200	—	1050

(注) 大学入試センター試験の各科目の得点は2分の1に圧縮する。

## 4 その他

第2次募集は行わない。

## VI 医学科特別選抜（推薦入学）

### 1 募集人員 7名

### 2 出願資格及び推薦条件

次の（１）、（２）、（３）のいずれかに該当する者であって、以下①～④のすべての要件を備え、学校長が責任を持って推薦できる者

- （１）京都府内の高等学校若しくは中等教育学校を、平成19年3月以降に卒業した者又は平成23年3月に卒業見込みの者
- （２）高等学校若しくは中等教育学校を、平成19年3月以降に卒業した者又は平成23年3月に卒業見込みの者のうち、当該高等学校若しくは中等教育学校を卒業前1年以上引き続き京都府内に住所を有する者又は保護者が平成22年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する者<注1>
- （３）本学において、（１）又は（２）の者と同等以上の学力があり、（１）又は（２）の「京都府内」要件に照らして適当と認めた者<注2>

- ① 高等学校若しくは中等教育学校後期課程における調査書学習成績概評がA又はA段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者
- ② 平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下、「大学入試センター試験」という。）において、本学が指定する5教科7科目を受験する者
- ③ 京都府が設定する奨学金を受給し、本学卒業後、一定期間京都府が指定する医療機関において研修及び勤務することを確約できる者<注3>
- ④ 合格した場合本学に必ず入学することを確約できる者

<注1>

保護者とは、親権を行う者又は後見人若しくはこれに準ずる者として京都府立医科大学長が認める者をいう。

<注2>

（３）による場合は、平成22年8月23日（月）までに、本学との事前協議が必要である。事前に学生課入試担当へ連絡のこと。（電話075-251-5167）

<注3>

本推薦入試は、平成19年8月文部科学省等の関係省庁連絡会議でとりまとめられた「緊急医師確保対策」に基づくものであり、入学者全員に対し、京都府が設定する奨学金制度が用意されている。

この奨学金は、本学卒業後に、本学における3箇年の研修（卒後臨床研修医、前期専攻医、後期専攻医の何れか、又はその組み合わせ）を含め、京都府が指定する医療機関で9年間以上、研修及び勤務することを条件とするものであり、本推薦選抜による入学者は、本奨学金を受給し積極的に京都府の地域医療への貢献が期待される。

なお、本推薦入試枠は奨学金の受給と京都府が指定する医療機関での勤務を条件に認められているものであり、推薦者及び被推薦者は、この点を十分に理解した上で推薦、出願すること。

<その他>

本推薦選抜の出願者は、本学の推薦選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができる。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、推薦選抜の出願とは別に出席が必要である。

### 3 入学者選抜方法

大学入試センター試験の成績、本学が実施する小論文及び面接の結果並びに推薦学校長から提出された推薦書及び調査書並びに志望理由書を総合的に判定して行う。

#### (1) 大学入試センター試験

入学者選抜の際に用いる大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点は、次のとおりである。総配点900点中765点以上の者のみを入学者選抜の対象とする。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		配点
国語	「国語」 必須	200
地理歴史・公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 から1科目	100
数学	「数学Ⅰ・数学A」 必須	200
	「数学Ⅱ・数学B」 必須	
理科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 から2科目	200
外国語	「英語」 必須	200
合 計		900

- (注) 1 大学入試センター試験において、国語、地理歴史・公民及び外国語並びに数学2科目及び理科2科目の5教科7科目を受験しなければならない。英語は、リスニングテストを免除された場合を除き、筆記試験及びリスニングテストのいずれも受験しなければならない。
- 2 地理歴史及び公民の2教科を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- 3 理科の3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用する。
- 4 英語は、リスニングテストを免除された場合を除き、筆記試験及びリスニングテストの合計得点を5分の4に圧縮する。

#### (2) 小論文

- ① 試験日 平成23年1月29日(土)

#### (3) 面接

- ① 試験日 平成23年1月29日(土) 午後又は1月30日(日)
- ② 面接は、医師となるにふさわしい資質・適性に加えて、京都府の地域医療に貢献する意欲を評価する。
- ③ 面接を欠席した者は、不合格とする。
- ④ 面接の集合時刻や会場など詳細については、受験票を送付する際に併せて通知する。

## Ⅶ 看護学科一般選抜（前期・後期日程）

### 1 募集人員

- (1) 前期日程試験 40名
- (2) 後期日程試験 10名

### 2 出願資格

入学を志願できる者は、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下、「大学入試センター試験」という。）で本学の指定する全ての教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成23年3月31日までに合格見込みの者で平成23年3月31日までに18歳に達するもの
- (7) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成23年3月31日までに修了見込みの者
- (8) その他、本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（注）

（注）出願資格（8）による入学資格の認定を申請する者は、平成22年8月23日（月）までに本学学生部学生課入試担当まで問い合わせの上、文書で照会すること。

### 3 入学者選抜方法

#### (1) 第1段階選抜

入学志願者数が募集人員の前期日程試験については5倍、後期日程試験については10倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、募集人員の前期日程試験については約5倍、後期日程試験については約10倍の合格者を決定する。

#### (2) 第1段階選抜に用いる大学入試センター試験の配点は、次のとおりである。

国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外 国 語	計
200	100	100	100	200	700

- (注) 1 地理歴史及び公民の2教科を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。  
 2 数学の2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。  
 3 理科を2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目の成績を採用する。  
 4 外国語(英語)については、リスニングテストを免除された場合を除き、筆記試験及びリスニングテストの合計得点を5分の4に圧縮する。

(3) 第2段階選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入試センター試験、本学が実施する第2次学力試験及び面接の成績並びに出身学校長から提出された調査書を基にして第2段階選抜を行う。

(4) 第2次学力試験及び面接

ア 試験日

- (ア) 前期日程試験 平成23年2月25日(金)  
 (面接は、第2次学力試験の終了後に行う。)  
 (イ) 後期日程試験 平成23年3月12日(土)  
 (面接は、第2次学力試験の終了後に行う。)

イ 第2次学力試験の実施教科・科目及び試験時間

教科名	内 容 等	試験時間
小論文	課題に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力を見る(英文による出題を含む)。	90分

ウ 面接

第2次学力試験の受験者全員に対し行い、看護職者となるにふさわしい資質、適性を評価する。

なお、面接試験の結果によって、看護職者となるにふさわしい資質、適性を欠くと判断されれば、大学入試センター試験及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とする。

(5) 第2段階選抜に用いる大学入試センター試験及び第2次学力試験の配点

大学入試センター試験					第2次学力試験	面接	総計
国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文		
200	100	100	100	200	100	—	800

## 4 その他

第2次募集は行わない。

## Ⅷ 看護学科特別選抜（推薦入学）

1 募集人員 35名（各校の推薦は2名以内とする。）

### 2 出願資格及び推薦条件

次の（１）、（２）、（３）のいずれかに該当する者であって、以下①～③のすべての資格・要件を備え、健康で学力、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者

- （１）京都府内の高等学校若しくは中等教育学校を平成23年3月に卒業見込みの者
- （２）高等学校若しくは中等教育学校を平成23年3月に卒業見込みの者で、本人又は保護者が平成22年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する者
- （３）本学において、相当の年齢に達し、高等学校若しくは中等教育学校を平成23年3月に卒業見込みの者と同等以上の学力があり、（１）又は（２）の「京都府内」要件に照らして適当と認められた者

- ① 本学卒業後、京都府立医科大学附属病院をはじめとする京都府内の医療機関等において、看護職者として保健・医療及び福祉に貢献しようとする強い意志を有する者
- ② 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
- ③ 合格した際に入学を確約できる者

（注）1 （３）による場合は、平成22年8月23日（月）までに、本学との事前協議が必要である。（事前に、学生課入試担当へ連絡のこと。電話 075-251-5167）

2 保護者とは、親権を行う者又は後見人若しくはこれに準ずる者として京都府立医科大学学長が認める者をいう。

### 3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、小論文及び面接の結果並びに出身学校長から提出された推薦書及び調査書を基にして行う。

（１）試験日 平成22年11月28日（日）  
（面接は、小論文試験の終了後に行う。）

（２）試験科目及び面接

ア 小論文（90分）

課題（英文による出題を含む）に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力を見る。

イ 面接

看護職者となるにふさわしい資質、適性を評価する。

## Ⅸ 募集要項等の交付

一般入学者選抜に関する細目を記載した募集要項及び出願書類は、11月上旬から交付する予定である。出願書類の郵送を希望する者は、次の方法で請求すること。

なお、特別選抜（推薦入学）の募集要項は、医学科については11月上旬以降に、看護学科については7月中旬以降に、京都府内の各高等学校長等に送付する。



### (1) 大学のホームページから請求する場合

本学のホームページからテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料請求ができる。

【HPアドレス】<http://www.kpu-m.ac.jp/>

### (2) テレメールで請求する場合

#### ① 自動音声応答電話またはインターネットを利用する。

	インターネット (携帯電話・パソコン)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> ※パソコン、携帯電話各社共通アドレス	※携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要	
	自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこでも、3分毎に約11円です。		

#### ② 資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力する。

資 料 名	資料請求番号	送 料
大学案内	5 6 4 7 1 2	2 4 0 円
入学者選抜要項	5 8 4 7 1 2	1 2 0 円
入 学 者 選 抜 要 項 + 大学案内	5 6 4 7 0 2	2 4 0 円
医学科一般選抜募集要項 + 大学案内	5 4 4 7 2 2	2 4 0 円
看護学科一般選抜募集要項 + 大学案内	5 4 4 7 1 2	3 9 0 円

#### ③ 音声ガイダンスに従って登録する。

### (3) 郵便局で請求する場合（10月から案内開始）

郵便局（普通局、特定局）に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申込む。受付から1週間程度で送付される。

なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もある。

### (1) (2) (3) の請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター Tel 050-8601-0102 (9:30~18:00)

### (4) 大学に直接請求する場合

【請求先】〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町465番地  
京都府立医科大学学生部学生課入試担当

郵便番号、住所及び氏名を明記の上、下記料金の郵便切手を貼った返信用封筒（角型封筒2号、33.2mm×24.0mm）を同封し、希望する資料名（例：「看護学科一般選抜募集要項請求」）を朱書きして本学学生課入試担当あてに請求すること。

<返信用封筒に貼付する切手>

- ・要項1種類のみ…240円
- ・要項1種類及び大学案内…390円

※要項を複数請求する場合は学生課入試担当（TEL 075-251-5167）に問い合わせること。

平成23年度入学者選抜における実施方法の変更概要

学科・選抜区分等	変 更 内 容
医学科推薦入学	<p>○募集人員</p> <p>【22年度入試】<u>7名</u>（各校の推薦は2名以内とする。）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【23年度入試】<u>7名</u></p> <p>※各校の推薦人数枠を廃止</p>

平成23年度京都府立医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等  (平成22年度志願倍率)		学力検査 等の区 分・日 程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の選 抜方法等					
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	面接		調査書	配点 合計			
医学部 医学科  入学定員 107名  (3.2倍)	前期 100名 その他7名	前期	国	国	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ・数Ⅵ・数Ⅶ	約4倍	センター試験	100	50	100	100	100						450	推薦			
			地歴	世Ⅱ、日Ⅱ、地理Ⅱ				理	物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱ、生Ⅰ・生Ⅱ	個別学力検査				200	200	200							600
			公民	現社、倫、政経							外	英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング	計	100	50	300	300	300					
		数	数Ⅰ・数Ⅱ		その他	面接（医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価する。）	※面接試験の結果によって、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を欠くと判断されれば、大学入試センター試験及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とする。																
			理	数Ⅲ・数Ⅳ、 工、簿、情報																			
				物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ																			
外	英、独、仏、中、韓	(5教科7科目)																					
医学部 看護学科  入学定員 85名  (2.8倍)	前期 40名 後期 10名 その他35名	前期	国	国	その他	小論文（課題に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力を見る（英文による出題を含む。））  面接（看護職者となるにふさわしい資質、適性を評価する。）	前期 約5倍	センター試験	200	100	100	100	200						700	推薦			
			地歴	世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱ				公民	現社、倫、政経	個別学力検査							100	※				100	
			公民	現社、倫、政経							計	200	100	100	100	200		100				800	追加合格
		数	数Ⅰ、数Ⅱ・数Ⅲ、 数Ⅳ、数Ⅴ・数Ⅵ、 工、簿、情報		後期 約10倍	※面接試験の結果によって、看護職者となるにふさわしい資質、適性を欠くと判断されれば、大学入試センター試験及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とする。																	
			理	物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ																			
				英																			
(5教科5科目)																							

注Ⅰ 大学入試センター試験の利用教科・科目名について

- 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校等でこれらの課程を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。
- 「地理歴史」・「公民」において、2教科を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- 看護学科（前期・後期日程）の受験者が、「数学」において2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- 医学科（前期日程）の受験者が、「理科」において3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用する。
- 看護学科（前期・後期日程）の受験者が、「理科」において2科目以上を受験した場合は、最も高得点の科目の成績を採用する。
- 英語は、リスニングテストの成績を利用する。
- 過年度の大学入試センター試験の成績は利用しない。

注Ⅱ 個別学力検査等について

- 数学Ⅱは「数列、ベクトル」、数学Ⅲは「行列とその応用、式と曲線」の内容を出題範囲とする。
- 物理Ⅱは、「力と運動」「電気と磁気」「物質と原子」の内容を出題範囲とする。また、「原子と原子核」において扱われている諸項目についても、出題の素材とすることはあり得る。
- 化学Ⅱは、「物質の構造と化学平衡」「生命と物質」の内容を出題範囲とする。
- 生物Ⅱは、「生物現象と物質」の内容を出題範囲とする。また、「生物の分類と進化」「生物の集団」において扱われている諸項目についても、基本的な内容を出題の素材とすることはあり得る。

## 入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地

京都府立医科大学学生部学生課入試担当

電話番号 075-251-5167 (直通)

問合せは、やむをえない場合を除き、志願者本人が行うこと。

